

畜産クラスター事業のポイント



事業見直しのポイント

- 従来の収益力の強化への支援に加え、
新たに**持続性向上タイプ**（農業構造転換集中対策）を追加
- 酪農への支援を再開**（搾乳牛舎の再開、機械の頭数制限撤廃）



持続性向上タイプ 新規

集中対策期間の特例！

中小規模の生産者、新規就農者、経営の継承者が
活用しやすくなります!!

① 収益性の向上には直ちに結びつかない様々な取組も支援

国産飼料の生産・利用、雇用の創出、**新規就農・経営継承**、
アニマルウェルフェア、家畜衛生、野生鳥獣害防止対策
といった**様々な取組から選択して**成果目標を設定

協議会内で支援チームを
立ち上げればOK!
★家畜導入も支援

② 施設の**補改修・中古機械**の導入を推進

施設：収益性向上の成果目標は不要（堆肥舎など非収益施設のみの改修も可）
機械：中古機械に限り3者見積もりは不要

③ ①の取組の実現に必要な施設・機械を**補助対象に追加**

車両消毒ゲート、野生動物侵入防止柵、飼料生産用ドローンなど

④ トラクターの導入に係る知事特認は不要



酪農の牛舎の支援再開

施設
整備

搾乳牛舎の申請受付を再開

※すべての搾乳牛舎整備の支援に適用

1頭当たり飼料作付面積が要件（北海道40a、都道府県10a）

※1 国産飼料購入分の面積換算も可

※2 都府県においては、給与飼料量の10%分を国産に置き換えることでも可

機械
導入

頭数制限を撤廃



建築コストの高騰への対応

1平米あたりの知事特認単価の引上げ（基準単価×1.3倍を1.5倍に!!）

※共同利用施設は1.8倍!!

例) 肉用牛舎 現行62千円 → 改定73千円 TMRセンターの飼料庫 現行89千円 → 改定126千円

持続性向上タイプの成果目標

分類	主な成果目標
1 環境	① 国産飼料利用量の5%(3%)増 ※()は都府県 ② 堆肥販売量の5%以上の増加
2 地域経済・担い手	① 飼養管理のための給与等(人件費)の5%以上の増 ② 新規就農者・経営継承者への支援チームの構築と年3回の支援会議の開催
3 AW・家畜衛生等	① AW畜産物の販売量と販売単価の5%増 ② 家畜疾病発生率の5%低減 ③ 野生鳥獣による被害面積の5%低減

成果目標の設定と取組の例

例1 和牛繁殖農家における家畜衛生の向上

成果目標	サルモネラ感染症の発生率の5%低減
取組	牛舎内や車両の消毒の徹底 → 出入口に消毒ゲートの整備、消毒用噴霧機の導入

例2 既存牛舎を活用した酪農家の親子承継

成果目標	継承支援チームの構築と、年3回の支援会議の開催
取組	牛舎内衛生と作業効率の向上による経営改善 → バンククリーナーの改修、換気口の整備 → 牛と従業員の動線確保のための通路の改修

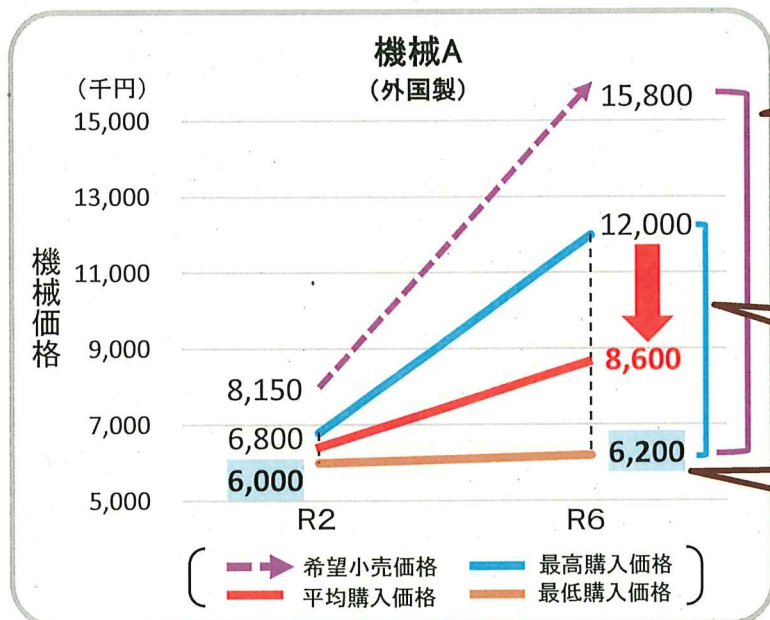
例3 国産粗飼料の単収向上

成果目標	国産飼料の生産量を5%増加。
取組	高品質な堆肥製造による粗飼料の単収の増加 → 雨水流入防止を強化するための堆肥舎の改修

安く機械を買うためのポイント!



機械価格の実態は...



R6年度の希望小売価格が
最低購入価格の2.5倍!

R6年度でも、同じ型番の製品が
最高と最低で1.9倍の差!

4年前とほぼ同じ価格で購入
しているケースも!!

交渉次第で安く機械を買うことができます!



大切なポイントは...

1.

安く購入した農家の価格を示す

2.

複数の機械をまとめて見積もりする

3.

見積もりをする販売店の範囲を広げる

4.

見積もりは3者以上に同時に頼む

少しでも安い機械を買えるよう、
協議会と一緒に頑張って取り組みましょう!!

物価高に負けない将来投資を応援しています!(裏面をチェック) ➡

自民党

物価高に負けない将来投資を応援します！



ポイント 1

畜舎特例法で施設の構造を簡易にできます！

- 畜舎特例法で、畜舎や堆肥舎、保管庫の構造に関する技術基準を緩和しています

畜舎特例法で建てる畜舎も、畜産クラスター事業の対象です！

- 簡易牛舎への支援の要件と上限単価を見直します(拡充)

増頭要件を廃止し、繁殖成績の向上等でOK！

ポイント 2

クラスター事業で施設の補改修を進めます！



- 持続性向上タイプでは収益性の向上を求めないので、堆肥舎やバンカーサイロの補改修がしやすくなります(新規)

- 施設整備において、面積当たりの補助の上限単価を引き上げます(拡充)

知事特認単価：基準の1.3倍→1.5倍
(複数の生産者が使う施設は1.8倍に！)

- 持続性向上タイプではTMRセンター、哺育・育成施設、堆肥センターに自治体が支援しやすくなります(複数の生産者が使う施設は地方債の起債対象)(拡充)

ポイント 3

クラスター事業で中古機械の導入を進めます！



- 中古機械の3者見積りを不要とします(新規)

ポイント 4

安く機械を買っている人は、交渉したり工夫しています！



【機械価格の実態は…】

- ・ 同じ型番の製品でも導入価格に差！
- ・ 4年前とほぼ同額で購入事例も！



【安く機械を購入している人は…】

- ・ 販売店に価格交渉！
- ・ 複数の機械をまとめて見積もり！



酪農経営支援総合対策事業のうち



酪農経営安定化支援ヘルパー事業

令和7年度:7.3億円 → **令和8年度:10.3億円**

支援メニューを大幅に拡充しました!!



© 2020 Japan Dairy Council

ポイント1. 酪農ヘルパーの魅力を高めましょう! (裏面参照)

☆ 酪農ヘルパーの待遇改善の拡充

交付額・
交付期間UP ↗

奨励金交付額・交付期間:

サービス利用料金と酪農ヘルパーの給与を上げた
場合に、引上げ額に応じた奨励金を交付します!

最大:**35,000円/月・人**

最長:**36か月間**

ポイント2. 酪農ヘルパーを募集しましょう!

☆ 酪農ヘルパーを知ってもらい、酪農ヘルパーになってもらうための 募集活動や広告掲載等への支援を強化 (定額)

上限
UP ↗

(上限: **200万円/組合** ← 100万円/組合)

☆ 学生インターンシップへの支援を強化 (定額)

上限
UP ↗

(宿泊費上限: **10,000円/人・泊** ← 6,000円/人・泊)

ポイント3. 酪農ヘルパーをともに育てましょう!

☆ ヘルパーをともに育成する酪農家への支援を追加 (定額)

拡充

(**8,000円/日、上限90日**)

☆ 全国団体が連携して行う出前研修への支援を追加 (定額)

拡充

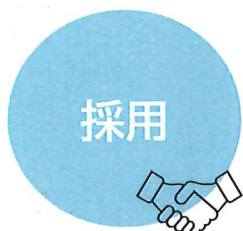
(**講師旅費、研修費用等を支援**)

その他、酪農ヘルパーへのOJT研修や免許取得、
傷病時利用の互助基金等への支援は継続して行います!!

自民党

☆ 酪農ヘルパー事業のその他の支援メニュー

★は定額、○は補助率1/2以内



- ★ 認知度向上のための
出前授業
- 酪農ヘルパーを目指す
学生の修学資金
(上限60,000円/人・月)



- 新規採用者の実践研修
(上限37,500円/人・月)
- ★ 実践研修生の住宅手当・
通勤手当の支給
(上限33,000円/人・月)
- 免許や資格取得経費



- ヘルパーの傷害保険や
対人・物損保険料



- 利用組合の
コンサル利用、電子化
- 長距離移動の
燃料費・宿泊費



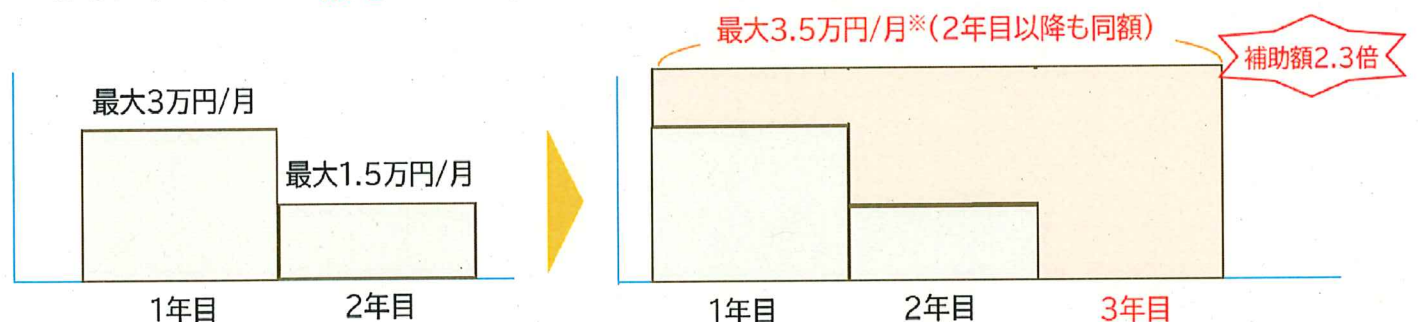
- 傷病時のサービス
利用料金
(5日以上継続利用
傷病時には病気・事故・出産・
育児・研修等を含む)

(記載しているのは支援メニューの一部です)



酪農ヘルパーの待遇改善奨励金の拡充

- ・奨励金の交付期間を最長2年(2年目以降は半額)から**最大3年(2年目以降も同額)**に延長
- ・ヘルパー給与の**3%以上増**を要件化
- ・さらに、ヘルパー給与を**5%以上**上げた場合は、奨励金単価を**+5千円**



地域の酪農関係の皆さまへ

酪農ヘルパーは、**地域の酪農をともに支える大切な仲間**です！

残念ながら**3年以内に離職**する酪農ヘルパーが**4割**います。

魅力ある酪農ヘルパーの職場づくりに、
酪農家、酪農ヘルパー、利用組合などが**一丸**となって、
取り組むことが、**持続可能な酪農の実現**につながります！

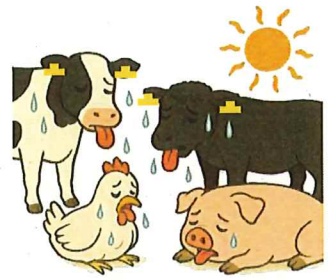
自民党

畜産・酪農の暑熱対策

✓ 近年、夏場の猛暑が常態化し、
畜産・酪農への影響が深刻化しています！

○暑熱による影響の例

- ・ 食欲不振
- ・ 受胎率の低下
- ・ 乳量の低下
- ・ 乳用牛の分娩間隔のズレ
- ・ 家畜の死亡



ポイント1

暑熱対策を支援します！

予算増額 畜産クラスター事業(R7補正)

省エネ型の送風機や細霧機等の導入、
断熱性能の追加などの畜舎の補改修を支援します！



対象資材 拡充

肉用牛経営安定対策補完事業(alic事業)

肉用牛繁殖経営において、遮熱塗料や断熱材等の
購入を支援します！



新規

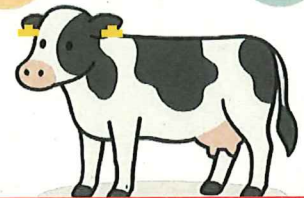
生乳暑熱対応推進緊急対策(R7補正)

酪農経営において、断熱材等の資機材導入や、
夏季における人工授精から受精卵移植（和牛受精
卵を除く）への転換を支援します！

人工授精



受精卵移植



ポイント2

夏前から準備しましょう！

▶ 家畜の体感温度や畜舎温度を下げる主な取組

- ・ 換気扇や扇風機による送風や散水・散霧の実施
- ・ 日よけ、屋根裏・壁等への断熱材の設置

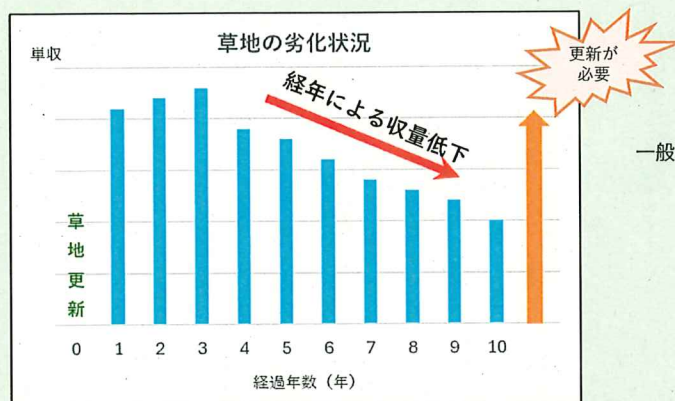


(暑熱対策の基本)

夏が本格化する前から、暑熱対策の事前の備えが重要です！

草地更新のすすめ

- ✓ 草地の収量は経年により低下していくため、10年に一度程度は草地更新が必要です。
- ✓ 更新により牧草の収量・品質が向上し、購入飼料の削減や乳量・乳質の向上につながります！
- ✓ 経営改善のため草地更新に積極的に取り組みましょう！



〈詳しくはこちら〉

一般社団法人日本草地畜産種子協会HP
「草地更新のすすめ」



草地更新を支援します

- ▶ 草地改良技術普及等対策<補正>
難防除雑草の駆除、高位生産草地等への転換を支援します！
- ▶ 中山間地域等飼料増産活性化対策<補正>
狭小地や傾斜地等を対象とした飼料増産を支援します！
- ▶ 飼料産基盤立脚型酪農・肉用牛生産地支援事業(工サ活)<当初>
高栄養草種の導入や草地更新等により栄養収量を増加させる取組を支援します！
- ▶ 草地畜産基盤整備事業<公共(当初・補正)>
大区画化、起伏修正等を伴う整備を支援します！

更新すれば
なまらモーかるよ！



肉用子牛対策の変更点（令和8年度）

- 肉用子牛生産者補給金の黒毛和種の保証基準価格は、令和7年度の57.4万円を60.0万円へ**2.6万円引き上げ**。
- 優良和子牛生産推進緊急支援事業の発動基準は、令和7年度の61万円を62万円へ**1.0万円引き上げ**。
- 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業の発動基準は、令和7年度の61万円を62万円へ**1.0万円引き上げ**。

臨時対策

62万円(黒毛)

+1万円

61万円

【発動基準・奨励金単価】(R8.4~R9.3)

品種区分	発動基準	発動基準
黒毛和種	(61→) 62万円未満	(59→) 61万円未満
必要取組数	2つ	3つ
奨励金単価	1万円/頭	2万円/頭
褐毛和種	(56→) 57万円未満	(54→) 56万円未満
その他肉専	(36→) 37万円未満	(34→) 36万円未満

【飼養管理向上の取組】

母子共通メニュー	・飼料効率の改善 ・添加物による栄養補助 ・駆虫・防虫対策 ・寒冷・暑熱対策 ・牛体管理の徹底
子牛メニュー	・疾病防止のワクチン接種 ・疾病の早期治療 ・栄養状態を強化する人工哺乳
母牛メニュー	・疾病防止のワクチン接種 ・発情発見機等の活用 ・高度な栄養管理

緊急特別対策

62万円(黒毛)

【発動基準・奨励金単価】(R8.4~R9.3)

品種区分 ※1	発動基準	奨励金単価	
		離島等以外	離島等※2
黒毛和種	(61→) 62万円未満	1万円	5万円
褐毛和種	(56→) 57万円未満		
その他肉専	(36→) 37万円未満		

必要取組

各和子牛産地※3で下の内容を含む基盤強化計画を作成。
下の取組のいずれか1つを行う生産者に対し、奨励金を交付。

- ① 地域内自給飼料の生産・利用
- ② 早期出荷に向けた地域内一貫生産
- ③ 需給に応じた生産（子牛や枝肉の需給・価格状況、消費者ニーズに関する勉強会等の実施）

※1 自家保留牛も対象

※2 「離島等」は、離島振興法第2条第1項の規定により指定された離島振興対策実施地域、沖縄県、鹿児島県奄美市及び同県大島郡

※3 都道府県肉用子牛価格安定基金協会が計画作成主体

+2.6万円 60.0万円(黒毛)

57.4万円

子牛補給金

保証基準価格

10/10

全国平均売買価格

【平均売買価格は四半期毎（その他肉専は年度毎）に算定】

自民党

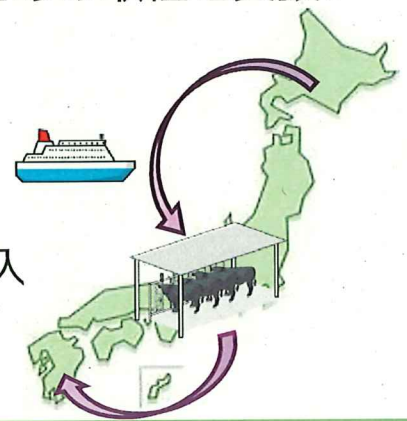
生体輸送対策（R8ALIC事業）

- 家畜の生体輸送については、労働時間の制約による輸送量の減少、トラックドライバー不足、農家の高齢化等により、輸送体制の維持が課題。
- これらの課題への対応として、広域及び地域内の生体輸送についてそれぞれ支援を実施。

【広域輸送支援】

広域・長距離輸送について、陸上輸送と海上輸送等の組合せや、陸路でのリレー輸送による輸送の効率化を図るための取組を支援。

- 協議会の開催
（生産者団体と輸送事業者等の連携）
- フェリー輸送等の活用の際の設備機器導入
（フェリー内の高温対策として冷房設備の導入）
- リレー輸送での中継拠点の整備
（中間地での一時係留牛舎の整備等） 等



【地域内輸送支援】

地域内の輸送体制維持のため、地域の持続可能な輸送体制計画を作成した生産者集団等に対し、計画に位置付けられた以下の取組を支援。

- 協議会の開催
（生産者団体と輸送事業者等の連携）
- ドライバーの育成
（家畜の扱いに慣れるための研修、運転免許取得）
- 輸送機器の整備
（トラックの荷台の改修等）
- 地域内での中継拠点の整備 等



食肉処理施設等整備のメニュー

1 再編・合理化 メニュー

支援内容：

2施設以上で**再編※・合理化**する
施設の整備 ※合併又は機能分離

上限事業費単価：

通常 12,953千円／頭

米国・EU 16,840千円／頭

年間補助上限：31.5億円

補助率：基本 1 / 2
特例 2 / 3※

※自治体が8.3%負担する場合

事業期間：最大5年間

2 輸出対応施設 メニュー

支援内容：

米国、EU等向け・ハラル認証
取得**輸出対応施設**（注）の整備

上限事業費単価：

通常 12,953千円／頭

米国・EU 16,840千円／頭

離島・ハラル 17,044千円／頭

年間補助上限：31.5億円

補助率：基本 1 / 2
特例 2 / 3※

※自治体が8.3%負担する場合

事業期間：最大5年間

（注）食肉処理施設のほか、
食鳥処理施設、GPセンターも対象

3 基幹施設 メニュー

支援内容：

中核的※な**基幹施設**の整備

※都道府県の流通合理化計画で
位置付けられたもの

上限事業費単価：

12,953千円／頭

年間補助上限：31.5億円

補助率：基本 1 / 2
特例 2 / 3※

※自治体が8.3%負担する場合

事業期間：最大5年間

4 浄化槽・冷蔵設備等 の改修（ALIC事業）

支援内容：

施設の**浄化槽・冷蔵設備等**の
整備・改修※

※2施設以上で集荷や販売等に関する

連携計画を策定したものが対象

年間補助上限：3億円

補助率：1 / 2

畜産関係共同利用施設の支援メニュー (食肉処理施設以外)

食鳥処理施設

新規

支援内容：先進モデル的な

食鳥処理施設の整備

- ・アニマルウェルフェアに対応したスタニング設備
- ・全自動脱骨ロボット等の省力化設備等の整備 等

年間補助上限：25億円

補助率：基本1／2

特例2／3※

※自治体が8.3%負担する場合

上限事業費単価：271千円／羽

事業期間：5年間

家畜市場

支援内容：家畜市場の再編整備

- ・セリ場、繋留・繋養施設
- ・セリシステム
- ・自動誘導レール等の省力化設備等の整備 等

年間補助上限：25億円

補助率：基本1／2

特例2／3※

※自治体が8.3%負担する場合

上限事業費単価：6,469千円／頭

事業期間：5年間

レンダリング施設

新規

支援内容：レンダリング施設の整備

- ・原料処理施設 ・乾燥粉碎施設
- ・殺菌処理施設 ・製品保管施設

等

年間補助上限：20億円

補助率：1／2

事業期間：2年間

令和7年冬決定 令和8年度酪農対策パッケージ

脱脂粉乳在庫対策の継続・強化など、引き続き、酪農家の皆様をお支えます！

需給の安定

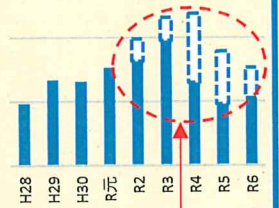
生乳の
さまざまな
需要の確保を
後押しします！



○加工原料乳生産者補給金等の単価を引き上げ

	令和7年度	令和8年度
・単価（合計）	11.90円/kg	→ 12.03円/kg
内訳		
加工原料乳生産者補給金	9.09円/kg	→ 9.11円/kg
集送乳調整金	2.73円/kg	→ 2.83円/kg
ALIC事業（集送乳調整金相当）	0.08円/kg	→ 0.09円/kg
・総交付対象数量（合計）	343万トン	→ 350万トン
内訳		
総交付対象数量	325万トン	→ 325万トン
ALIC事業	18万トン	→ 25万トン
・支援総額	400.4億円	→ 409.0億円

脱脂粉乳在庫の推移



（在庫低減対策により
在庫が抑制されている）

○全国協調及び需要拡大の取組への支援を継続・強化

- ・これにより今後の乳価交渉の環境を整備
- 6回の乳価引上げは1,600億円の売上増効果

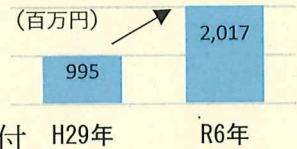
○暑熱対策のため、断熱材等の資機材導入や夏季における人工授精から受精卵移植（和牛受精卵を除く）への転換を支援

○需要の見込まれるチーズの生産拡大を強化

- ・チーズ仕向けを増やす指定団体等に対して奨励金を交付
- ・高付加価値生産を拡大する乳業メーカーにも更に支援。

○LL牛乳の輸出拡大に向けたオールジャパンの取組を推進。

LL牛乳輸出額



LL牛乳の輸出額は、
7年間で約2倍に増加

経営の安定

酪農経営の
コスト低減を
支援します！



○畜産クラスター事業における酪農の牛舎整備の支援を再開

- ・施設：支援再開にあたり、経産牛1頭当たり一定の飼料作付面積を有することを要件（北海道40a、都府県10a*、購入国産飼料も面積換算して計上）

*給与飼料分の10%分を国産に置き替えることでも可

- ・機械：酪農の機械導入の増頭制限を廃止

○畜産クラスター事業において新たに持続性向上タイプを追加

- ・新規就農・経営継承、野生鳥獣防止対策など、収益性の向上には直ちに結びつかない様々な取組を支援、施設の補改修・中古機械の導入を推進

○長命連産能力の高いホルスタイン精液等を利用する取組に奨励金を交付

- ・能力の高いホルスタイン精液：6,000円（特に能力の高いホルスタイン精液：9,000円）
- ・1頭当たり最大2回まで

○良質な飼料生産の最大化に向けた取組を支援（エサ活）

- ・青刈りとうもろこしへの転換や良質な二番・三番草の収穫など飼料の栄養収量を増加させる取組に対し交付金を交付（15,000円/ha以内）

輸送の 合理化

集送乳合理化や
輸送体制の整備
を応援します！

○指定団体による、集送乳経費の上昇を抑えるための合理化の取組を奨励

- ・集送乳調整金の中で奨励金として9銭/kg上乘せ
- ・ミルクローリーの導入やバルククーラーの大型化にはALIC事業等が活用可能

○家畜の生体輸送体制を整備するための取組を支援

- ・ドライバーの育成やトラック荷台の改修等
- ・広域預託への取組（1頭当たり31,000円）



改正畜安法 の課題

効果的な
需給調整に向け
議論を進めます！

○契約数量を大幅に増やす申出の期限を設定すること、契約違反を繰り返す生産者からの翌年度分の取引の申出は拒むことができるよう省令を改正

○全国的に必要な取組への参加・拠出を、幾つかの主要な補助事業への交付要件とする措置（クロス・コンプライアンス）を導入

→引き続き、現場の声を聴きつつ、規律の強化を検討します

自民党